

1 やらのさき まんようかひ 也良崎万葉歌碑



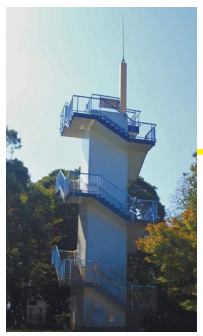
也良崎は防人が置かれていたことが分かっている全国唯一の場所。船出して帰らぬ人となった夫を恋い慕う妻子の悲しみを詠んだものです。

2 のこのしまアイランドパーク



北部に広がる約15万平方メートルの自然公園。一年を通じて季節の花々が咲き誇ります。特に、菜の花とコスモスは有名!

4 能古島展望台



山頂195mにある展望台では、福岡市街や玄界灘など四方を眺望でき、遠くには小呂島も見ることができます。

3 能古島 キャンプ村・海水浴場



キャンプ村にはヤシの木が茂り、まるで南の島のような。海の家や宿泊可能なバンガローがあり、テントや炊事道具などの貸し出しも行っています。

6 能古博物館



島の歴史・民族資料や儒学の筑前亀井学資料を展示しています。別館には能古出身の画家多々羅義雄の絵画などもあります。毎週金・土・日と祝日に開館(入館有料)。

5 檀一雄文学碑



死の4日前に色紙にしたためた俳句を刻んだ文学碑。ここから「リツ子 その愛・その死」の舞台となった糸島半島の小田の浜が望めます。

博多湾にぽっかり浮かぶ周囲約12kmの小さな島。
のんびり散策しながら、自然と歴史浪漫を堪能できるスポットです。
都会の喧騒を離れて、能古島の自然と歴史に触れてみて!



7 永福寺



曹洞宗の寺で明治の初め頃まで神宮寺と呼ばれていました。境内には地元出身の洋画家多々羅義雄の歌碑や、戦後すぐに遭難し28人の犠牲者を出した能古渡海船の慰霊碑、二八観音などがあります。

8 のこ 能許万葉歌碑



能許(のこ)という地名が文献に初めて出た歌で、荒津から出航した遣新羅使が能許の泊(現在の唐泊)で風待ちをしている時の気持ちが詠まれています。

9 しらひげ 白鬚神社



島の産土様(うぶすなさま※その地域の守り神のこと)。奈良時代の創建といわれており、本殿の飛天の彫刻が見事です。



10 檀一雄歌碑

みやま市にある善光寺の裏山で筑後平野を見下ろしながら死別した妻を想い、作家檀一雄が詠んだ悲歌とされています。

